

PCB廃棄物対策推進費補助金 1,500百万円（1,500百万円）

廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課

1. 事業の概要

国の主導のもと日本環境安全事業株式会社を活用し、全国的なPCB廃棄物の処理体制の整備を図っているが、PCB廃棄物の処理費用は通常の廃棄物に比べ相当高額とならざるを得ない。

そのため、処理費用の負担能力の小さい中小事業者が保管するPCB廃棄物の早期かつ円滑な処理を進めるため、PCB廃棄物処理基本計画及び独立行政法人環境再生保全機構法に基づき、国、都道府県からの補助金による基金を独立行政法人環境再生保全機構に造成し、中小事業者のPCB廃棄物処理に係る費用負担を軽減するための助成を行い、PCB廃棄物の早期処理を促進する。

2. 事業計画

中小事業者のPCB廃棄物処理に係る費用負担を軽減するための助成を行う基金の造成を24年度も引き続き進める。

3. 施策の効果

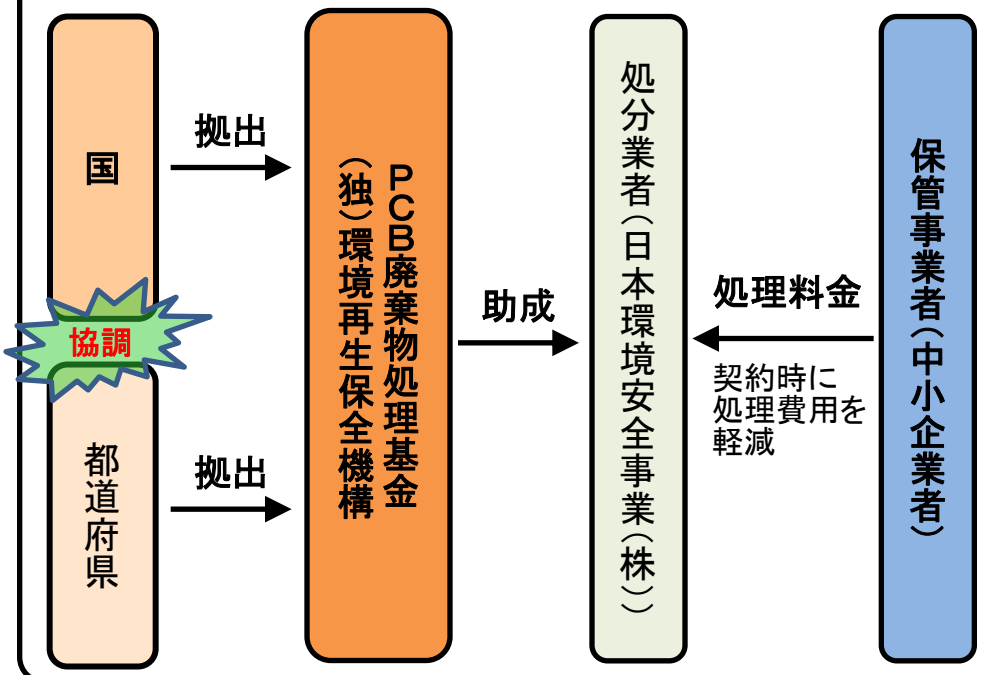
中小事業者のPCB廃棄物処理に係る費用負担を軽減するための助成を行うことで、PCB廃棄物の早期処理の促進が図られる。

PCB廃棄物対策推進費補助金

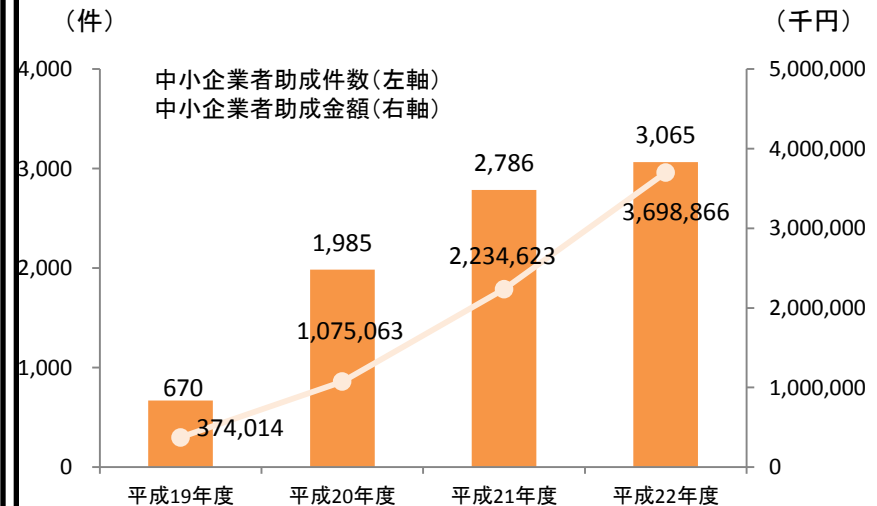
- PCBを使用した高圧トランス等や汚染物等のPCB廃棄物は、相当量のPCBが含まれ、付着し、染み込んだ廃棄物
→その処理には通常の廃棄物と比べ相当高額な費用が必要となる
- 保管事業者は30年間もの長きにわたり保管を強いられてきた
→特に費用負担能力の小さい中小企業者は、高額な処理費用の負担が困難であり、処理の推進に支障を来す

- 国及び都道府県の協調補助により、PCB廃棄物処理基金を造成(平成13年度～、最終的に560億円を造成する予定)
- 中小企業者がPCB廃棄物を処分業者(現在は日本環境安全事業株式会社)に処分委託する際にその処理費用が軽減されるよう、同基金から処分業者に対して中小企業者の費用負担軽減に必要な額を支出
→中小企業者の処理費用負担を軽減し、PCB廃棄物の早期かつ円滑な処理を促進

基金による中小企業者助成の流れ(イメージ)



助成実績



→処理の本格化に伴い、助成実績は年々増加